



十和田市

議会だより

目次

◆議案審議の状況	2
◆決算審査特別委員会	3
◆一般質問	4
◆常任委員会所管事務調査報告	8
◆森林・林業・林産業活性化促進 十和田市議会議員連盟視察報告	8
◆常任委員会視察報告	9
◆青森県市議会議員研修会	10
◆請願等の状況・次回日程など	10

第56号

平成30年11月1日発行

9月定例会号



三本木良いところ またおんで♪

～三本木小唄流しおどり～

発行／十和田市議会

編集／議会だより編集委員会

〒034-8615 青森県十和田市西十二番町6番1号
TEL (0176) 51-6781 FAX (0176) 25-0726

ホームページ <http://www.city.towada.lg.jp/bunya/sigikai/>
E-mail gikai@city.towada.lg.jp

十和田市議会 検索

9月定例会

—議案審議の状況—

平成30年第3回定例会は、8月27日から19日間の会期で開かれました。十和田市監査委員に関する条例の一部を改正する条例を初め、議案15件（議員提出議案6件を含む）、報告6件、認定8件が上程され、議員提出議案1件が否決され、その他は原案のとおり可決されました。

十和田市監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定

地方自治法の一部改正により、条例で議員のうちから監査委員を選任しないことができることとされたことを踏まえ、監査制度の独立性及び専門性の強化を図るため、市議会議員からの選任に代えて、識見を有する者から監査委員を選任するためのもの。

主な質疑

Q 経費に変更が生じるのか。

A 監査委員の勤務日数は現行と同じなので、報酬額の改定はありません。

Q 議会から選出される監査委員がいなくなることによる影響は。

A 今回の改正は、監査委員はより独立性や専門性を発揮した監査を行い、議会は議会としての監査機能に特化していくべきであるという考えに基づくものです。

Q 監査委員を常勤にする考えは。

A 他市の設置状況等も考慮し、当面は現行のとおりとします。

平成30年度十和田市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ1億9,333万7,000円を追加し、それぞれの総額を325億181万6,000円とするもの。歳出の主なものは次のとおり。

◇解体施設アスベスト除去

旧伝法寺小学校及び旧南屋内グラウンドの解体工事にあたって、施設の外壁等にアスベストが含まれていたことから、その除去工事を実施するもの

◇林道橋梁点検

林野庁インフラ長寿命化計画に基づき、平成32年度に十和田市林道施設長寿命化計画を策定するため、対象となる橋梁について点検を実施するもの

◇インバウンド対策事業

中国航空路線である青森・天津線のさらなる利用率の向上及び定期路線の維持のため、県、青森市及び弘前市と連携し、中国向けのプロモーション（テレビでPR番組を放映）を実施するもの

その他可決した主な議案

◇十和田市営土地改良事業（災害復旧）の施行

（平成30年5月18日から19日までに発生した豪雨により被害を受けた農地及び農業用施設の災害復旧を、市営土地改良事業として施行するためのもの）

決算審査 特別委員会

平成29年度の一般会計、各特別会計（国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業、温泉事業）、企業会計（水道事業、下水道事業、病院事業）の決算は、9月10日から12日までの3日間開催された、議員全員で構成される決算審査特別委員会で審査され、いずれも認定すべきものと決まりました。

主な質疑を要約し、掲載します。

一般会計

質問 市税の収納率は。

答 現年度課税分は全体で99・3%です。

質問 移住・定住支援事業の成果と今年度の見込みは。

答 住宅取得・改修

補助事業により、37世帯103人が移住しました。今年度は8月末時点で24人が移住予定です。

質問 婚活支援事業の参加者数が増えた理由とカップルの数は。

答 出合いイベントや婚活支援セミナーの開

催にあたり、ホームページや広報等で周知に努めました。お付き合いが始まったのは2組です。

質問 がん検診の受診率が減少した原因は。

答 未受診者に対して書面通知や電話勧奨等を行ってきましたが、特に40代、50代の新規の受診者数が年々減少傾向にあるためです。

質問 新規就農・移住就農者数と、そのうち途中でやめた人数は。

答 これまで農業次世代人材投資資金の交付を受けた新規就農者は31名で、そのうち市外からの移住者は5名です。やめた人は2名います。

質問 森林組合等の造林事業への補助が予算額を下回った理由は。

答 植栽面積が当初計画の約78%にとどまったこと、また林家が業者に請け負わせるのではな

く直接植栽し、単価が抑えられたためです。

質問 国立公園満喫プロジェクト事業におけるインバウンド対応セミナーの効果は。

答 集客・英語対応のセミナーと、コンサルティングを実施しました。宿泊事業者における英語サイトへの登録や、翻訳アプリの導入、カード決済システムの導入等の成果に結びついています。



訪日外国人を十和田に呼び込もう

質問 地震津波被害で必要と想定される災害用備蓄物資を約3万食確保しようとしているが、達成時期は。

答 平成33年度と設

定しています。また、今年度から食料はアレルギー対応のものに切り替えていく予定です。

質問 特別な配慮を必要とする児童・生徒をサポートする特別支援教育支援員をふやしたが、これからもふやしていくのか。

答 学校からの要望人数と理由や、教育支援委員会で個々の児童・生徒を把握し、支援員を適切に配置していきます。

特別会計

(国民健康保険事業)

質問 特定健康診査の受診率が、60%の目標に対して36・3%にとどまったことへの見解は。

答 健診負担金の無料化、休日健診や、健康とわだポイントラリーの実施等により、受診率はわずかながら増加傾向にありますので、引き続き取り組んでいきます。

企業会計

(下水道事業)

質問 水洗化率が85%代で伸び悩んでいる原因は。

答 下水道を接続するにあたり費用がかかる場合があるため、接続しない方がいると考えます。

(病院事業)

質問 約120億を超える未処理欠損金についての見解は。

答 基本的に経常収益を黒字にしなければ減らしていけないので、今後収支の改善に努めます。



病院事業のさらなる経営努力を



氣田 量子
(自民公明クラブ)

人工鼻の購入費用を助成し がん患者に支援を

来年度の給付開始を検討したい

議員 がんで喉頭を摘出した方は、喉元の永久気管孔から呼吸をすることにになり、鼻に空気が通りにくくなる。鼻の機能を代替し、せきやたんを抑え、快適な生活を手助けする器具である人工鼻を、障がい者の日常生活用具として認めて助成する考えは。

健康福祉部長 県の動向を確認し、がん患者の治療後の生活状況の現状把握に努め、助成については調査研究してまいります。

議員 コミュニケーション支援ボードは、わかりやすい絵記号や写真を指さすことで、話し言葉による意思疎通を苦手とする方とのやりとりを利用できる。市の各窓口で活用する考えは。

議員 外見だけでは障がいがあるとわかりにくい方等が周囲の手助けを求める方法にヘルプマークがある。県内で配布されるようになって約2年経過したが、市民に周知されていない。健常者が知らなければ意味がないと考えるが、市の見解は。

健康福祉部長 手話や筆談、身振り等により即時・双方向のコミュニケーションに努めています。が、当面は支援ボードの携帯版であるNTTご提案の「電話お願い手帳」と周知に努めたいと考えています。

副市長 がん患者の自立した日常生活や社会参加に向けた支援を行い、安心して暮らせる施策を推進したいので、来年度の給付開始に向けて検討したいと考えています。

健康福祉部長 広報への掲載や職員あて庁内メールの配信等を行いました。今後も継続して周知に努めます。

広報への

議員 抗がん剤治療の副作用の一つに脱毛があるが、目に見えることの精神的負担は大きい。また医療用ウィッグ（かつら）は高額で経済的にも負担が大きい。医療用ウ

ィッグ・乳房補正具の購入費用を助成する考えは。



思いやりをもって手助けを

高齢者の難聴支援のため 磁気ループを導入せよ

管理・運用方法を研究したい



舩 甚 英文
(日本共産党)

議員 聴覚障がい者が通常使う補聴器は、講演会場やホール等では周囲の全ての音を拾ってしまいうため、本当に聞きたい音を聞き取ることが難しいことがある。磁気ループ（磁気誘導ループ、ヒアリングループとも）は、音声信号を磁気に変え、その磁気を受信機等で受けて目的の音を聞き取りやすくできる。高齢化に伴う難聴者への支援のため、市民文化センターや市民交流プラザに導入する考えは。

健康福祉部長 現在建設中の新庁舎の議会傍聴席では、聴覚障がい者の方々にヘッドフォンで対応することとしています。各施設への磁気ループの導入については、管理や運用方法を調査研究したいと考えています。



聞き取りやすい環境整備を

議員 中心市街地活性化に向けた交通拠点施設構想の現状は。

観光商工部長 この構想は、市内のバス路線や高速バスを含む広域バス、またコミュニティバス、乗り合いタクシー等の交通結節点となる観光案内の機能も備えた交通拠点を整備するものです。整備スケジュールとして、平成31年度に整備に係る各種調査や基本構想・基本計画の策定、32年度に用地取得と基本設計・実施設計に取り組み、33年度に着工、34年度までに完成させることで、第2期中心市街地活性化基本計画の計画期間である平成35年度末までに活性化の効果を発現させたいと考えています。

議員 聴覚障がい者が通常使う補聴器は、講演会場やホール等では周囲の全ての音を拾ってしまいうため、本当に聞きたい音を聞き取ることが難しいことがある。磁気ループ（磁気誘導ループ、ヒアリングループとも）は、音声信号を磁気に変え、その磁気を受信機等で受けて目的の音を聞き取りやすくできる。高齢化に伴う難聴者への支援のため、市民文化センターや市民交流プラザに導入する考えは。

民生部長 集会施設を持たないところがあることや、屋根の形状や設置場所により売電収入に大きくなばらつきが生じることから、町内会への一様な支援策としては適当では

ないと考えています。

子供の虐待防止に向けた 取り組みは 子ども家庭総合支援拠点を 来年度設置したい



櫻田 百合子
(市民連合クラブ)

議員 域住民から泣き声の通報等の虐待通告があった場合、直ちに受理会議を開催し、児童の安全確認と安全確保を最優先に、家庭相談員が訪問し、対応しています。また七戸児童相談所と調査方法や内容、結果等を情報共有し、技術的助言等を受けています。

議員 虐待防止にどう取り組むのか。

副市長 大きな事件に至らないものの虐待の件数は増加傾向にあり、養育環境に問題のある家庭の状況も深刻化しています。

議員 当市の子供への虐待の発生状況は。

健康福祉部長 昨年度の件数は、ネグレクト(※)11件、身体的虐待9件、心理的虐待5件です。

※ネグレクト：食事を与えない、ひどく不潔にする、重病でも病院に連れて行かない等といった保護の怠慢・拒否のこと

議員 虐待が発生した場合の対応は。

健康福祉部長 保育施設や学校等で子供のアザ等が発見された場合や、地

域住民から泣き声の通報等の虐待通告があった場合、直ちに受理会議を開催し、児童の安全確認と安全確保を最優先に、家庭相談員が訪問し、対応しています。また七戸児童相談所と調査方法や内容、結果等を情報共有し、技術的助言等を受けています。

議員 虐待防止にどう取り組むのか。

副市長 大きな事件に至らないものの虐待の件数は増加傾向にあり、養育環境に問題のある家庭の状況も深刻化しています。

議員 当市の子供への虐待の発生状況は。

健康福祉部長 昨年度の件数は、ネグレクト(※)11件、身体的虐待9件、心理的虐待5件です。

※ネグレクト：食事を与えない、ひどく不潔にする、重病でも病院に連れて行かない等といった保護の怠慢・拒否のこと

議員 虐待が発生した場合の対応は。

健康福祉部長 保育施設や学校等で子供のアザ等が発見された場合や、地



市営野球場の得点表示板の更新を



久慈 年和
(市民連合クラブ)

議員 国会で審議中の

水道法改正案は、表向きは水道管の老朽化対策等を掲げているが、中身は地方自治体の水道事業の運営権を民間事業者が獲得する公共施設等運営権方式(コンセッション方式)を推進する内容であり、本音は水道事業の民営化だと言われている。

議員 スポーツ施設全般の維持管理のあり方についての見解は。

教育部長 教育委員会による定期的な巡回、指定管理者との意見交換と指導を行うとともに、利用者からの声を把握するなど、引き続き適切な管理運営に努めます。

議員 国会で審議中の

水道法改正案は、表向きは水道管の老朽化対策等を掲げているが、中身は地方自治体の水道事業の運営権を民間事業者が獲得する公共施設等運営権方式(コンセッション方式)を推進する内容であり、本音は水道事業の民営化だと言われている。

水道事業の民営化導入に異議あり

導入には懸念もあり

国等の動向を注視する

だし安全安心な水を安定的に供給することが求められる公共性の極めて高い事業の運営権を民間業者に設定することが、市民サービスの低下につながりかねないと懸念されており、市としての注視していきます。

議員 森林管理が進むことへの期待がある反面、過剰な伐採が進んで丸裸の山が出てくることや、小規模林家の排除につながる等といった疑問や不安の声があるが、市の見解は。



安全で安心な水の供給のために

議員 森林の手入れができる自治体や民間業者が伐採することができるようになる森林経営管理法が

議員 森林の手入れができる自治体や民間業者が伐採することができるようになる森林経営管理法が



山端 博
(市民連合クラブ)

循環バス等の

本格運行への取り組みは

アンケートをもとに検討を進める

議員 高齢者の交通体系は自家用車から公共交通へと変わりつつある。実証運行中の市街地循環バス等は、今後さらに必要なものになっていくと考えるが、利用状況は。

議員 高年齢者の交通体系は自家用車から公共交通へと変わりつつある。実証運行中の市街地循環バス等は、今後さらに必要なものになっていくと考えるが、利用状況は。

議員 利用者がやや少ないと感じるが、周知が課題と考える。注目を集めて知名度を上げるため、本格運行実施の際に運賃無料期間を導入する考えは。

議員 利用者数がやや少ないと感じるが、周知が課題と考える。注目を集めて知名度を上げるため、本格運行実施の際に運賃無料期間を導入する考えは。

議員 路線バスの代替手段である大下内・八斗沢地区の「おとたく」、深持地区の「ふかたく」、切田地区の「きりたく」の予約制乗合タクシーの利用状況は。

議員 路線バスの代替手段である大下内・八斗沢地区の「おとたく」、深持地区の「ふかたく」、切田地区の「きりたく」の予約制乗合タクシーの利用状況は。

議員 「おとたく」は、平成29年度は899人で、平成25年度から663人減少しています。「ふかたく」は、平成29年度は1283人で、平成25年度から399人減少しています。全体で、延べ1024人減少しています。

議員 「おとたく」は、平成29年度は899人で、平成25年度から663人減少しています。「ふかたく」は、平成29年度は1283人で、平成25年度から399人減少しています。全体で、延べ1024人減少しています。



市街地循環バスの利用促進を

議員 現在も低運賃で運行しているため導入は考えていませんが、利用者促進の取り組みはどのようにつなげていくのか。

議員 現在も低運賃で運行しているため導入は考えていませんが、利用者促進の取り組みはどのようにつなげていくのか。

議員 人口減少が及ぼす影響への対策として、地域運営組織が注目されている。これは、住民みずからできることはみずから行うという考えのもと、地域が抱える課題を共有し、解決策を協議するとともに、その協議、決定を踏まえて活動を行うものである。これと同様のものが当市の広域コミュニティであると考えますが、取り組み状況と今後の方針は。

議員 人口減少が及ぼす影響への対策として、地域運営組織が注目されている。これは、住民みずからできることはみずから行うという考えのもと、地域が抱える課題を共有し、解決策を協議するとともに、その協議、決定を踏まえて活動を行うものである。これと同様のものが当市の広域コミュニティであると考えますが、取り組み状況と今後の方針は。



堰野端 展雄
(自民公明クラブ)

広域コミュニティづくりを進めよ

市全域での設立に向け地域の意識醸成等を図る

議員 現在、3つの広域コミュニティ組織が設立されていますが、今後は市全域を対象に、概ね小学校区単位での広域コミュニティづくりに取り組んでほしいと考えています。そのため、勉強会等を開催して意識醸成を図るほか、組織化に向けた地域での会議の支援等を行います。また、事務局機能やコミュニティ活動に財政支援していきたいと考えています。

議員 現在、3つの広域コミュニティ組織が設立されていますが、今後は市全域を対象に、概ね小学校区単位での広域コミュニティづくりに取り組んでほしいと考えています。そのため、勉強会等を開催して意識醸成を図るほか、組織化に向けた地域での会議の支援等を行います。また、事務局機能やコミュニティ活動に財政支援していきたいと考えています。



みんなて地域の課題解決を

議員 福祉関係の部署でも広域コミュニティと同様の考えで行っている事業がある。横断的な取り組みをする考えは。

議員 福祉関係の部署でも広域コミュニティと同様の考えで行っている事業がある。横断的な取り組みをする考えは。

議員 広域コミュニティは多種多様な課題を解決する組織として期待されることから、制度や分野を超え、横断的に対応したいと考えています。

議員 町内会との組織体制をどう考えているのか。

議員 コミュニティ活動の基本は単位町内会と考えますが、単位町内会で対応できない課題については、関係団体等で構成された組織が一体となって広域コミュニティ活動に取り組む体制を考えています。

議員 今年度の報酬改定により、放課後等デイサービスの各事業所において、利用者のうち障がいの子が半分以上を占めるかどうかで報酬が線引きされることになった。しかし、子どもの状態を見ずに障がい程度を判定した自治体があり、国が各自治体に再判定を依頼している。当市では適切に行われているか。

議員 今年度の報酬改定により、放課後等デイサービスの各事業所において、利用者のうち障がいの子が半分以上を占めるかどうかで報酬が線引きされることになった。しかし、子どもの状態を見ずに障がい程度を判定した自治体があり、国が各自治体に再判定を依頼している。当市では適切に行われているか。

議員 国の指標に基づき、適正な判定を行っており、再判定が必要な事例はありません。

議員 国の指標に基づき、適正な判定を行っており、再判定が必要な事例はありません。



戸来 伝
(柗の会)

財産区の事務処理が不適切では

早急に点検し適切な対応策を行う

議員 ある市民が財産区の立木売払いに関する庁内の文書を目にしたところ、支出名目の誤記や、一日奉仕作業の支出の際の受領印の誤り、支出明細における不自然な奉仕作業人数といった不適切な事務処理が見られた。このことについての見解は。

対応策を検討したいと考えています。奉仕作業に従事した方の確認は、今年度からは名簿や集合写真で行い、報償費は後日振り込む方法に改めていきます。今後はこうした誤りのないよう、複数の職員による確認をする等、適切な事務処理に努めます。

通年でのスキー場の利用が見えてくるのではないかと。

副市長 市は焼山地区活性化基本計画に基づき、グレンデへのシバザクラの植栽や、仮設展望台の設置、夜のライトアップ試験点灯等を行っていきます。今後は展望台の設置、散策路の整備、老朽施設の改修や撤去等についてご提案も踏まえ、しっかりとした計画を策定し、取り組みを進めたいと考えています。

総務部長 過去の書類を一部点検したところ、文書の字句が誤っていたり、奉仕作業に係る実奉仕人数の確認が十分でなかったりする事案が見受けられました。このことから、今後は関係書類が残っている平成24年度以降のものについて早急に点検を行います。公文書の訂正等が必要なものについては、現在は統一的なルールが定まっています。また、法律的なものも含め、

議員 焼山地区の十和田湖温泉スキー場と駐車場との間の道路をまたぐように屋根を渡し、その上に、リフト券売り場、休憩所、レストラン、展望台等を備えたレストハウスを設ければ、冬以外でも眺望や食事を楽しめ、道路を横切らずに移動ができるようになる。また、駐車場南側に子ども遊び場をつくれれば家族連れも楽しめるようになり、



通年活用が望まれる十和田湖温泉スキー場

常任委員会 所管事務調査報告

総務文教常任委員会

「学校施設の安全対策について」

市内小中学校のブロック塀の点検状況について市から説明を受けました。問題のあった5校のうち、4校は対応済みで、1校は年内に対応することでした。

⇒学校施設の安全対策は適切に進められていると意見集約しました。

「大雨時の防災対策について」

大雨発生時の情報収集、避難情報発令、避難所等の体制等について市から説明を受けました。

⇒全国的に災害が増加しているため、防災マップやハザードマップの周知に努めてほしいと意見集約しました。

観光経済常任委員会

「高森山展望台の景観対策について」

眺望が周囲の樹木に妨げられていたため、剪定状況について市から説明を受け、現地視察しました。

⇒案内板の表示、撮影ポイントの設置、展望台のかさ上げ等も検討してほしいと意見集約しました。

森林・林業・林産業活性化促進

十和田市議会議員連盟 視察報告（7月17・18日）

平川市の(株)津軽バイオマスエナジー及び津軽バイオチップ(株)は、木質バイオマス発電事業に取り組んでいます。これは間伐材やりんご栽培時の剪定枝をチップに加工し、これを燃料に発電するものです。生じた電力は地元の公共施設等に供給され、発電時の排熱は、ト

マト等の生産に利用されます。雇用創出など、地域の活性化に大きな効果をあげているようです。弘前市は、駅前こどもの広場において木育の普及啓発に取り組んでいます。広場の遊び場には、木製の様々な遊具やおもちゃが設置されています。木育インストラクターがそこで遊び方を指導し、子どもたちが豊か

な心を育てていけるよう促していました。



弘前市 駅前こどもの広場

常任委員会視察報告

平成30年7月に行われた
各常任委員会の調査視察の概要を報告します。

建設常任委員会 7月2～4日

総務文教常任委員会 7月3～5日

民生福祉常任委員会 7月3～6日

《岡山県津山市》

景観計画及び歴史的風 致維持向上計画

津山市は、古い建造物

や町並みが残っていること
とから、歴史的風致維持
向上計画を策定し、市街
地環境の整備に取り組ん
でいます。また、固有の
自然景観・農村景観・城
下町等の歴史的景観の保
存のため、独自の景観条
例・景観計画をつくり、
市全域の景観の保全・誘
導を推進しています。住

民の理解と協力が不可欠
とのことで、景観計画の
策定方法について参考と
なりました。

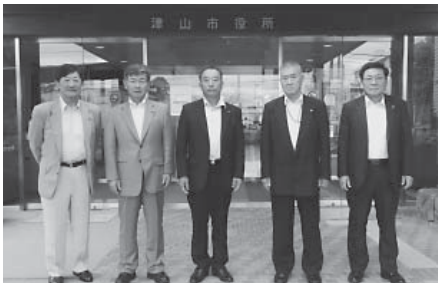
《岡山県岡山市》

みちづくり計画

岡山市は、中国・四国

地方の交通の要衝として、
道路整備の方針と整備計
画を定めたみちづくり計
画を策定しています。広
域交流の強化、移動の円
滑化（渋滞の緩和等）、公
共交通との連携、都心内
の回遊性の向上、交通事
故の削減、道路の緑化と
環境の改善、生活道路の
整備等を進めています。

しかし、土木管理費・道
路橋梁費等の義務的経費
が増える状況下で、道路
インフラ整備を十分に進
められないという課題が
あるとのことです。



津山市役所にて

《新潟県見附市》

田んぼダム

見附市は、洪水被害軽

減のため「田んぼダム」
の取り組みを行っていま
す。これは大雨の際に田
んぼに一時的に水を貯め
て河川への流出量を抑制
し、流域の洪水被害の軽
減を図るものです。少な
い経費で高い効果が得ら
れると注目されています
が、国や県が進める園芸
産地の育成・拡大により
取り組み解除の増加が今
後見込まれることが課題
とのことです。

《富山県魚津市》

市民バス運行事業

魚津市は、民間のバス

路線が多数廃止となつた
ことを受け、地域住民
主体の市民バスの運行を
行っています。市民バス



魚津市役所にて

を活用した商店街活性化
イベントの実施、地域住
民がバス停ベンチの設置
等を行うバス・サポータ
ー制度の創設、教育機関
との協働によるバス位置
情報システムの開発、地
元ケーブルテレビを活用
したPR等、様々な取り
組みをしています。持続
的な運行のためには、住
民が「自分たちの地域の
バスを守っていこう」と
いう意識を持つことが重
要とのことです。

《鹿児島県鹿屋市》

地域コミュニティ協議 会推進計画

鹿屋市は、地域課題の

複雑化・多様化に対応す
るため、一定地域内の町
内会、市民活動団体、N
PO、ボランティア団体、
企業等が地域の身近な課
題解決に向けて一体とな
って活動を行う住民自治
組織「地域コミュニティ
協議会」の設置を推進し
ています。2地区をモデ
ル地区として進めていま

すが、設立には、その地
域における熱意のあるリ
ーダーの存在が重要であ
るとのことです。

《鹿児島県日置市》

生ごみモニター回収処 理事業

日置市は、家庭から排

出されるごみを減らして
焼却費用を抑制するため、
生ごみ回収を行っていま
す。市民は、所定の場所
に設置された回収用の「た
る」に、24時間いつでも
生ごみを出せます。それ
は業者によって堆肥化さ
れ、野菜栽培に活用され
ます。市は、事業に取り
組む自治会に、回収量に
応じて奨励金を払います。
この事業により、市民の
環境意識も変化する等、
大きな効果が得られたと
のことです。



鹿屋市役所にて

10月3日(水)、サン・ロイヤルとわだで県内10市の市議会議員が一堂に会し、青森県市議会議員研修会(青森県市議会議長会主催)が開催されました。

「地方議会が実現する地方創生」と題して、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長で元徳島県川島町長の中村健氏が、日本社会の急激な変化により、地方議会がどのようにその役割を変化させていくかについて、先進事例を紹介しながら講演し、参加者一同が熱心に聴講しました。



講師の中村健氏

意見書を提出しました

- ・日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書
- ・若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書
- ・地方財政の充実・強化を求める意見書
- ・水道民営化を押し進める水道法改正案の成立に反対する意見書
- ・学校施設への冷房等空調設備の設置促進を求める意見書

議会傍聴の案内

議会を傍聴される方は、議場の傍聴者入口にて受け付けし、傍聴券の交付を受けてください。なお、傍聴者の定員は45名で、先着順になっています。

市役所駐車場に駐車できない場合は中央駐車場をご利用ください。利用者には傍聴者入口で駐車場無料券を配付します。

ご迷惑をおかけし、誠に恐れ入ります。

平成30年第4回定例会の開催予定

- | | |
|----------------|---------|
| 11月 8日(木) | 本会議(開会) |
| 11月19~21日(月~水) | 一般質問 |
| 11月22日(木) | 本会議(閉会) |

※各常任委員会の開催予定日は未定です。

※日程は変更になる場合がありますので、詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。

請願・陳情

採択となりました

- ・「保育料の軽減」についての請願
- ・「5歳児健康診査」についての請願
- ・「老朽化に伴う保育所施設整備」についての請願
- ・日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択についての請願
- ・若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情

不採択となりました

- ・治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める国への意見書提出についての請願
- ・十和田湖地区の公共施設(十和田湖支所、十和田湖公民館、十和田湖体育館)の整備存続などに関する請願

継続審査

- ・十和田市道見世糠森線(路線番号1098)拡張及び舗装工事に関する請願

インターネット上のサービスを更新!

- ・議会中継の配信媒体を「ユーチューブ」に変更
 - ・会議録検索システムがスマートフォン等からも利用可能に(URLも変更)
- 詳しくはホームページをご覧ください。

編集後記

市の政策は、執行権のある行政が提案し、議会が審査や表決をして、市民の皆様いろいろなサービスがなされる。

行政と議会は車の両輪だといわれるのは、この「所以」とあると考える。

議会報告会は6年間やってきたが、参加者は必ずしも多くない。

これまで新年度予算と重点項目などを報告しているが、市民参加者の意欲がわかないようだ。

目下、議会改革特別委員会、今後の方向性について議論を重ねているところである。

今後はどうか、多くの市民参加を期待したい。

(文責 畑山親弘)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 江渡 信貴 |
| 副委員長 | 氣田 量子 |
| 委員 | 櫻田百合子 |
| 委員 | 齊藤 重美 |
| 委員 | 久慈 年和 |
| 委員 | 舩甚 英文 |
| 委員 | 赤石 継美 |
| 委員 | 畑山 親弘 |